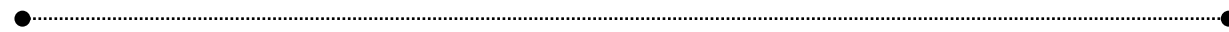


平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	にんにく生産拡大事業
事業主体 (連絡先)	花とハーブの里にんにく生産組合 090-8326-4375
事業区分	④特色ある水田農業の推進と北アルプス山麓ブランドや地域特産物の地域振興への活用
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,959,552円 (うち支援金: 1,533,000円)



事業内容

- 1. にんにくの生産拡大事業
 - ・圃場整備
 - ・青森県産にんにく種の購入・作付け。400kg+前年収穫した50kgを植え付けした。作付面積は約20a 本年は購入にんにくを2LからLに変更し、2本株の減少・保存性の向上・品質の安定を狙っている。
 - ・にんにく栽培研修会を実施。農業改良普及センターと連携。また組合員の圃場へ生育状況の確認に廻った。
 - ・にんにくの加工品研究も各組合員が自費で行っている。黒ニンニクを作り、またさらに食べやすくする方法を考えている。粉化、オイル等に取り組んでいる組合員もいる。



【組合員の共同圃場で土壌改良剤を入れる作業】

【目標・ねらい】

①本場の生産地である青森県の気候に似ている安曇野・大北地域で、農家の所得向上と新たな特産品づくりのために、にんにくの生産拡大に取り組む。

事業効果

- ・組合員数は昨年の27名から36名に拡大した。
- ・作付面積は昨年の一昨年5アールから20アールに拡大した。
- ・発足当時の収穫物よりも、支援金を使った第1回目の収穫(H29年6月)は、大粒の物が収穫できた農家が多かった。植え付け、補水、追肥の技術が向上している。

※自己評価【 A 】

【理由】

平成29年6月の収穫は、前年度に比べて結果はよかった。本年も非常に順調に生育している。組合員が白馬村にも広がった。

今後の取り組み

引き続き安全で美味しいにんにく作りに取り組む。30年10月の植付が支援金最後になる。良い種が残せるように収穫のタイミングと保存方法にも慎重に取り組む。会員を増やすために、役場とJAとの連携を取り、チラシの配布を予定している。にんにく加工品の研究も進めていく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある